三鑛
発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番
編集発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場
三鑛労組
機関紙

九闘、統制を指示

首切 絶對に拒否せよ

會社の強行策に鐵桶の布陣

愈々首切りの問題も深刻化して来た。会社は二十七日より二十九日迄退職募集を実施し、その員数が定数にならない場合は三十日より九月四日までに退職勧告をし、解雇すると強硬な態度に出て来ている。君達はこの首切りを苦にして自殺する向志が出て来ている。吾々は人道上の問題として、この首切策を完全に撤回せねばならない。そのためには団結することであり統制を乱すことが首切闘争に敗北することである。統制の問題については次の様な指示が中央、九闘より出されている。

退職希望者に對する諸統制

中闘指令第六号にて退職希望者に対する指導統制の大綱を指令したが交渉決裂段階に於ける会社の発言に依つて退職募集、退職勧告、指名解雇の一方的強行が明確になつたので中闘委員会は此の段階を判断し万遺漏無きを期するため左記の通り指示する。

記

一、中闘指令第五号に基き解雇通告受領拒否、及退職募集、退職勧告は絶対に拒否せよ。拒否の具体的な方法に就いては貴委員会に於いて検討中の事と思うが特に次の点に留意されたし。

①組合の同意を得ずして退職を強行する者、又は組合の指示に従わない者は本指令第二項に依つて措置せよ。

②前項については大衆行動デモ等に依り反省を求める様措置し拘束せよ。

二、解雇された者、若しくは希望退職者の退職手続等（退職金、旅費の精算等）業務作業は一切拒否せよ。

三、坑口の一方的閉鎖に依る其の他閉鎖に関する附帯作業を全面的に拒否せよ。但し此の場合最悪の事態に当面した時に貴委員会に於て判断される時は、生産管理を含む一切の効果的戦術を採用せよ。

註　後記に於ける閉鎖個所に於ける生産管理の闘争方式に就いては別途指示する。

四、解雇された者、若しくは退職者の職種、職場への職種変更並に配置転換はこれを拒否せよ。

五、退職勧告

六、公私傷病者の解雇基準該当に関しては特にオルグを派遣して生活、地位の保全を確約すると共に精神的、肉体的打撃に対しては総てに万全を期せられ度し

七、前各項（除く六項）の指示に依る行動を貫徹実行するためピケ隊を編成し指令、指示に規定された行動を阻害する者ある場合はピケに依り之を阻止せよ。

八、前各項の指示は組合の負う責任に於ては「拒否である旨」を周知せしめ組合指示と業務命令とに依る組合員の行動に混乱を生じせしめざる様特段の注意を払われたし。

前項各項の指示及組合が発する総ての指示指令を無視して退職する者若しくは業務拒否、その他争議行為に於ける逸反者に対しては強く戒刑への復帰を勧告又は要請し其の後尚従はざる者

解雇通知の伝達、その他解雇に関する業務並に業務命令は拒否し其の旨組合（職場、居住闘争委員会含む）に速かに伝達せよ その場合命令した者の氏名、場所、日時、命令の内容を明らかに報告の事。

主婦達は必死だ！

首切旋風の友山を行く

中央旗労の指示で、岩屋炭鉱争議の激励に出向き、阿見根参議と同行した本紙平島編集部長からの佐賀、筑豊の友山の首切と闘う原地ルポを掲載する。

第二組合と闘う

岩屋勞組

（一・三〇〇名）は、六月下旬に九州を襲つた未曾有の豪雨で坑内堪没、或は流失のため四名の同志が犠牲となつた。

会社はその四名の死体が発見されないうちに、団体交渉で全員解雇の線を打出し、失業保険で食つて行く機要請して来た。

組合は会社側の措置が不当解雇であると云う見解に基き地労委に提訴し、系争中の形式に於て失業保険をとり、それによつて生活を維持し、組合を存続し組合執行部の留任を大会で決定した。

会社は殺務整理に一・三〇〇名中二八〇名を残したが、この残つた組合員に働きかけて第二組合を結成させ、残つた二八〇名の労働条件、その他の交渉はこの第二組合にありとする様な態度に出て来た。

組合としては全員復帰して、五・〇名）北方（一・一三九名）の三坑八月五、六日組合幹部を招いて大闘三五〇名、北方三七五名の人員整理を申入れて来たが、組合側はこれを拒否した。杵島炭合としては九共闘では一番始めであり、杵島を九共闘の突破口として出された感があり、九州炭労や九共闘の態度に対して、九州炭労や九共闘の態度に対して、九共闘のえている。

ピストン訪問で頑張る

田川の主婦達

田川労組では本社前に十月日より二十二日までと二十三日から無期限の坐込を三交替で続けている。この坐込には本部執行員の外は全部組合員（職組も含む）で毎日十五名から二十名位の坐込である。

大衆動員は十八、二十、二十二日と三回に亘り提灯デモを行い、気勢をあげている。主婦の人々はデモにも最先にかけつけ、二十二日のデモには千五百名程度の参加で屋は鉱長、部課長宅へ四、五名一組となつてピストン的に首切撤回の訴問をつゝけたり市長、市会議員宅へ陳情にもかけめぐつている。とゝも三池と同様主婦の人々の動きとその熱心さは、組合員以上である。

職鑛一本で坐り込み

山野勞組頑張る

本部（山野では本社をこう呼ぶ）に通ずる鉄道路切に、とゝも職鉱一本の坐込をなしている。この通路は本部へ行くのに必ず通らねばならないせまい道で坐込の効果はてき面に上つている。

ト規制法の争議脱落で山野勞組の闘い方には各山が注目している二十七日午後四時から締けつ起大会を開き、主婦をまじえた提灯デモを行い反対闘争の気勢を上げることになつている。

整然とストに突入

三鉱の企闘第一波

会社は組合の逸反対を捕切つて廿七日から廿九日（午後四時まで）の期間を限り退職募集を切り出して来た。これより先組合は中闘指令第九号に基き、首切撤回並に山元福利厚生に関する会社の不誠意に鉄槌を下す為これまでの違法闘争、時間外拒否から一歩を進めて廿六日附三鉱労組企闘指令第五号を以て①八月廿七日一番方より廿四時間一斉ストライキに突入せよ。②特に指名された組合員は別途指令あるまでストライキを継行せよ。と指令、会社に対し逐次重圧をかけあくまでも初志貫徹を期す決意を明確にした。

「デモに寄す」　三川坑　一員

◇…地炎燃り怒るデモ隊つゞくなり…◇
◇…生きるべき叫びぞ炎ゆる天に地に…◇
◇…デモの意圖はげしく夏の日をなせり…◇

前進

理論を超えた段階

（一）

八月廿五日、豫期していた處ではあるが僞瞞に満ちた会社の聲明と共に一方的首切りの强行が發表された。

三鉱連からは指令第九号が飛び、廿七日吾々は山元闘争を折り込んだ廿四時間のストライキを以つて之に應じた。

此の日午前九時を期して各社宅一齊に開かれた蹶起大会には老幼締めて無慮三万を算し二〇〇〇台の銀輪部隊と共にその火のように燃えた闘魂は文字通り意を强くするに足る壓卷であつた。

（二）

怒濤の様なデモの波に見る親と子と夫と妻の姿はただ「理屈の時ではない」と語つた一指揮者の言葉そのまゝである。

權力なき者、資本と武力なきものは理論的にも又本能的にも常に大衆行動のみが力である。

廿七日のデモの中でいたいけな子供達が生々とした表情でスクラムを組んだ一隊が見受けられたが、此の子供達の親が今十名に一名の割で首の座に置かれている事を想い浮べた時、此の子達の泥にまみれた榮養不良の姿を想像することはどうしても忍びないことである。

（三）

その為にはやはり零の闘いを死守する以外にはない。

やむにやまれない家庭の事情或は現職以上有利に自己の力を生かし得る職場を得た人々に対しては組織の決定と雖も個人の自由な意志を拘束すべきでないとする説は諒解出來るが廿五年暮の希望退職の前例に徴し、更には今会社がとりつゝある手段を考へる時希望は必ずしも希望の名で呼ばれない壓力がある事を知らねばならない。即ち百名の自由を守る為に千名の自由を犠牲にする强制を許すことは出來ない。それと同時に高炭價に悩む經濟再建と言う美名にかくれた合理化が必ず出炭減による高炭価維持と、労働强化策に他ならない事は過去幾多の歴史が証明している通りである。

文献によれば今回の企業整備には三井だけで二十億の金額を必要とすると言う。二十億と謂えば人工島初島を十五ないし二十も生みだす財源ではないか

國家的な失業對策もなく更に失業者を生む為の巨萬の資金が何故に平和産業を起す為に投じられないのか

（四）

最後に一主婦から寄せられた投書の一部を抜萃して絶体絶命な此の叫びを全組合員の聲として結束を固めたい。

…撤回しない限りはあくまでも闘争を頑張つて下さい、私達家族は手に汗を握つて良いニュース、勝拔く事を待つて居ます。…中略…それを思うと夜寝不安の中に明け暮れ苦しい思いをしています。どうか組合の皆様全國組合員、又三池組合員とその家族が悲惨な運命の試験台に立つている事を推察致されてお救い下さいの。私の家族を代表して最後のお願いです。……後略

感想文　入選四席

防衛の爲に

三作支部　出雲利雄

企業整備、その他の闘いのために各職場に闘争委員が選ばれることになつた。その時のある職場での話であるが、次のようなことがあつた。

闘争委員とは字の如く、闘いのために働く委員である。だからみんな「闘争委員になれば首切反対のために職場で先頭に立つて闘わねばならぬ、そうすれば会社から目をつけられる、悪くすれば今度の首切で切られるかも知れない」そう考えて、立候補するところか、闘争委員に、と相談を受けた者でさえも、闘争委員になることを强く拒否した。誰もなりてがいない、さて皆んな思案した。結局「クジ引」で選ぶことになり、クジ引によつて何名かの闘争委員が選ばれたのである。

他の職場でもこの様なことがあつたが、三鉱労組全体から見れば些細な事柄も知れない、その小さな事実から三鉱全体のことを考えるのは根本的に誤りかも知れない。そうかといつて見逃すのも今後の組合運動についてこれまた大きな誤りを犯すもとになりそうな気がする。

執行委員になる人にしろ、職場で働く組合員にしろみんな、首切りはこわい、首切りこそが一番恐ろしいことである。だからこそ組合に加入し組合を作つている。しかし、今までこの様なことは一度もなかつた。

何故だろうか？　何のために？　考えれば考える程、疑々なる考えが浮んでくる。しかし、結論としてまとめられることは。

組合員各自が勝利への自信を失いはなかつたことである。自分を守るのは自分の力だけであると考えるのは自分を守るのは組合だ」の考えを一時失つたとしかいえないとう断定するのは思い過いかも知れない、しかし大変なことである。

職場の大衆は、上部の指導方針をうたがい、幹部の闘志を信用せず、そうして段々弱くなつて行き、上部は職場の大衆の力をうたがい弱く幹部して、段々に傾いて行き、それを見て職場の大衆は段々益々弱くなり、組合全体の力は次第に弱められて行く。

組合の力は上部や地方の、或いは各支部の役員の力だけではない、なんといつても職場に働いている組合員の力が組合の力になるのだ、上部で決定された運動方針管や、闘争指導方針が如何に强く表現されていたとしても、組合が看板通り强いと云われないのだ。

「クジ引闘争委員」は一つの例であるが小さな一つの職場の問題として等閑視しておくわけには行くまい。組織は外部からの切崩しには案外强いかも知れない。しかし内部から次第に弱まつて行くことが多い。組織を今以上に弱めてはならない。当面の課題として組織の防衛のために全組合員がもつと批判し反省する時期のようである。

福炭婦協

現有勢力

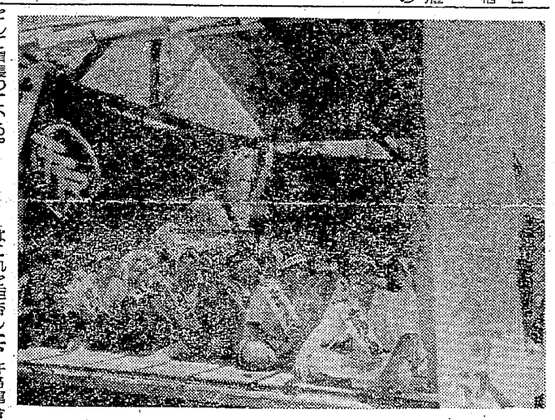
炭勞九州地方本部傘下各組合のうち福炭婦関係の現有勢力は日炭高松の五千百名を筆頭に総計二万一千九百五十六名で、これに三池が加われば三万を優に潤ぎつけるのも間近と見られ主婦の飛躍的な組織の强化が期待されている。

組合名	会員数
日鉄二瀬	三、二〇六
日炭高松	五、一〇〇
貝島大の浦	四、〇〇〇
漏積鉱業	一、二〇〇
日炭山田	三七〇
三菱上山田	一、三〇〇
三菱新入坑	八〇〇
〃　七坑	八〇〇
三菱鯰田一坑	四二〇
吉河略地	七〇〇
〃大略	九〇〇
〃下山田	七〇〇
明治天道	三二〇
〃赤池	一、二〇〇
日満新目尾	一四〇
木城炭鉱	二〇〇
唐畑り	六〇〇
計	二一、九五六

三人に一人の首切

九共闘の杵島に

佐賀県の杵島運合大闘（一・〇〇〇の三名）北方（一・一三九名）の三坑八月五、六日組合幹部を招いて大闘三五〇名、北方三七五名の人員整理を申入れて来たが、組合側をして頑張つている。



田川本社の前の坐込み

石炭の値段が高い

それは經營の無策からだ

会社は新聞折込や掲示で「人員整理に関して従業員の皆さんへ」という見出しで出しているが、その内容は、三炭鉱業があらゆる產業の基礎となるもので、その値段が高いため首切りをやらなくてはならないといつている。經營の無能無策がこの様な状態を引き起したことは反省せず、一方的な犠牲を强いようとしている。基礎產業で危険な仕事をしている炭鉱労働者の賃金は他產業と比較して、最も低く炭鉱經營者は納税ベスト・テンに入る程もうけたことは棚上げにしている。なお組合の主張は正常な交渉の仕方に反したものであるといつているが、会社こそ民主的なルールに反した首切案を一方的に提示し、これを撤回せず折渉するということこそ正常な交渉のあり方ではない。交渉はふり上げた武器をなげすてゝ話合うことを忘れている。会社は二十七日は出て出来るだけ犠牲を少くするためといつて、第二次首切を次の様に発表している。

またまた會社の手

小きざみ案を出す

一、日程及び整理方式

自八月二十七日至八月二十九日　午後四時締切＝希望退職募集

自八月三十日至九月四日　午後四時＝退職勧告

九月四日解雇

其他に就ては原案通り（省略）

二、整理員數（当該各事業所の員數のみを発表の事）

	坑内	坑外	計
山野	一一四	九八	二一二
砂川	六五五	五五〇	二〇五
芦別	三三	一五三	一八六
美唄	四五一	二二四	六六五
合計	坑内＝一、九九九	坑外＝二、五六四	四、五六三

註　①坑内外別員數は希望退職の実績その他の事情により変更を生ずる場合がある。

②山野の整理員數には三井鑛業医学研究所の整理員數を含むものとする（山野のみ発表）

三、退職勧告基準

原案の通り（省略）

四、処遇

特別退職加給金を左の通り変更

増額する、その他は原案通り

実動續年數満五年以上満十年未満…平均賃金の　百二十日分

実動續年數満十年以上満二十年未満　百五十日分

実動續年數満二十年以上　百八十日分

右金額が四万円に満たない場合は四万円を支給する。但し本年九月以降十二月末までに停年に該当する者の特別退職加給金並に最低保障金は別紙の通り（従業員の皆さんへ参照）

創作（入選二席）

裸踊り（二）

春野一夫作
久慈慈一画

ぐうぐうしいのか、鈍感なのかが、その落ちつきかたは、ふだんと一つも変らなかつた。

「えへへへ」と、吾作爺は何時も変らぬ造り笑いをして「なあにたいしたこたあ、ねえそうで」と云つた。米や子供が、炭鉱の坑内で働いていても、その爺や親達は坑内の様子をまるで知らなかつた知らないのです〳〵不安になる落盤で岩の下になつたまや、息子を想像する。炭鉱は危険な処だと云う先入感が、しば〳〵最悪の場合を予想するものだ。与作の嫁は玄関わきの炊事場の板張りにでんと腰掛け　赤坊に乳を飲ませていた。色の黑いまる顔は、前歯が一本抜けて、如何にも元気そうな格好であつた。

「手の首を一寸やつたげな」と、ニヤ〳〵　笑つて、他人ごと見たいな口振りだつた。

皆、あつけに取られ、肩すかしを食つた気持であつた。「そいでも、早う行つてみんちゃよかな？」社宅の女房達は世話のやける世話すきの女ばかりだつた。

（三）

保立与作が単身、宮崎の山の中から此の炭鉱え流れ込んだのが、昭和十三年の秋だ。二十五才だつた。日華事変が初まつて、日本軍が破竹の勢で進撃し、南京を落し間もなく武漢三鎮が落ちた。若い者が、どし〳〵召集され、此の炭鉱も人不足で悩んでいた折だ。

与作は丙種で、兵隊にも行けず村の若者達が次々と兵隊にとられて支那大陸え渡るのに、与作だけ

もう与作は獣目だろうと、翌式の用意迄してかけつけたのだつた。その負傷が原るのに約一年かゝつた。その時の見舞金が、当時の金で二千円だつた。それは何に使つたか与作は、もう記憶にない。採炭夫をやめて与作は裡取になつた。之は炭車を操車する運搬夫のことだ。

その年の八月、うら盆の近い頃与作じいが色の黑いまるぼちゃの娘を連れて、山奥から出て来た。之が与作の嫁だつた。社宅をもらつた。一年たつた。長女の春江が生れた。

その年の春近く与作は、炭車にもまれて、瀕死の負傷をした。之が与作の第二回の重傷だ。この傷で死亡大腿え渡るのに、与作だけその間に二女の夏子が生れた。

日・專・連　三池專門店会
秋
洋服なら
カッターなら
良品　正価
ヤクオーイン
大牟田・新町五月橋側
TEL2130・2331

寝具の事なら斷然安い
人生の1/3はフトンの中
地球印脱脂綿
だるまわた　三池寝具（銀星北側）
大牟田市有明町本通り　TEL4017

生活の合理化は先づ
石油コンロ
5ケ月月賦販賣
九州ミシン商會
大牟田松屋横・三川町四丁目

皆様に贈る超サービス
トヨペットサービス車購入
当商会より購入のラジオ保証サービスのためサービス・カーが巡回致します
ラジオ月賦販賣
一般電氣器具卸問屋
シヤープラジオ代理店　有限会社　北原電氣商會
大牟田市通町一丁目　TEL2574